

■ 会社概要 (2021年3月31日現在)

商 号 小池酸素工業株式会社
 (英文名) KOIKE SANZO KOGYO CO.,LTD.
 創 立 1918年10月15日
 設 立 1936年12月8日
 資 本 金 4,028,472,259円
 従 業 員 数 347名 (連結: 1,067名)
 本店所在地 東京都墨田区太平三丁目4番8号
 KOIKE Bld.7階 (2021年6月25日変更)

■ 役員 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長 小 池 英 夫
 代表取締役副社長 富 岡 恭 三
 取 締 役 保 坂 清 仁
 取 締 役 横 野 健 一
 社 外 取 締 役 横 田 健 二
 社 外 取 締 役 賢 持 善 英
 取締役(監査等委員) 飯 吉 浩 志
 社外取締役(監査等委員) 富 本 音 丸
 社外取締役(監査等委員) 飯 塚 学
 社外取締役(監査等委員) 廣 野 安 生

■ 配当金の推移

支払期	1株当たり配当金
第97期 (2019年度)	60円
第98期 (2020年度)	50円
第99期 (2021年度) 予想	60円

第98期定時株主総会に関するご報告

報告事項	決議事項
1. 第98期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第98期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)計算書類報告の件 本件は、上記の内容を報告いたしました。	第1号議案 剰余金の処分の件 本件は、原案どおり承認可決され、第98期期末配当金につきましては、当社普通株式1株につき金50円と決定いたしました。 第2号議案 定款一部変更の件 本件は、原案どおり承認可決され、定款第3条に定める本店の所在地を東京都墨田区に変更いたしました。 第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)6名選任の件 本件は、原案どおり承認可決され、小池英夫、富岡恭三、保坂清仁、横野健一、横田健二および賢持善英の6氏が選任され、それぞれ就任いたしました。 第4号議案 監査等委員である取締役4名選任の件 本件は、原案どおり承認可決され、飯吉浩志、富本音丸、飯塚学および廣野安生の4氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 剰余金配当基準日 期末配当金 3月31日
 単 元 株 式 数 100株
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 郵 送 物 送 付 先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
 (電話照会先) 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
 公 告 方 法 電子公告
 (https://www.koike-japan.com/jp/ir/kessan)
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は日本経済新聞に掲載します。

(お知らせ)

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金振込指定等のお申出先について
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座をお持ちでなかった株主様につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



第98期 株主通信

2020年4月1日から2021年3月31日まで

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第98期の当社グループの連結業績と第98期定時株主総会の決議内容についてご報告申し上げます。



代表取締役社長 小池英夫

■ 当期の事業環境および業績の概要

売上高	39,247百万円 (前期比9.4%減)
営業利益	1,137百万円 (前期比47.6%増)
経常利益	1,365百万円 (前期比33.5%増)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△61百万円 (前期比 -)

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う景気の低迷が続いており、依然として予断を許さない状況で推移しました。また、わが国経済は、設備投資や企業収益に持ち直しの動きが見られるものの、未だに感染症の収束の目途は見えず、先行き不透明な状況が続きました。当社グループの主需要先である建設業界・産業機械業界・造船業界では、需要回復の兆しが見られるものの、依然として市況は低調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループはコロナ禍での営業施策に取り組みましたが、その効果は限定的なものとなり、売上高は減少しました。利益面については、各種業務改善施策の実施や経費削減等を徹底したことにより、営業利益および経常利益は増加しましたが、固定資産の減損や昨今の経済環境の変化による中期経営計画の見直しに伴う施策の一環として、会社の体質強化を図るために実施した在庫の処分に関する特別損失が発生しました。

その結果、当連結会計年度の売上高は392億47百万円(前期比9.4%減)、営業利益は11億37百万円(同47.6%増)、経常利益は13億65百万円(同33.5%増)、親会社株主に帰属する当期純損失は61百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純利益2億78百万円)となりました。

■ 部門別の連結売上高

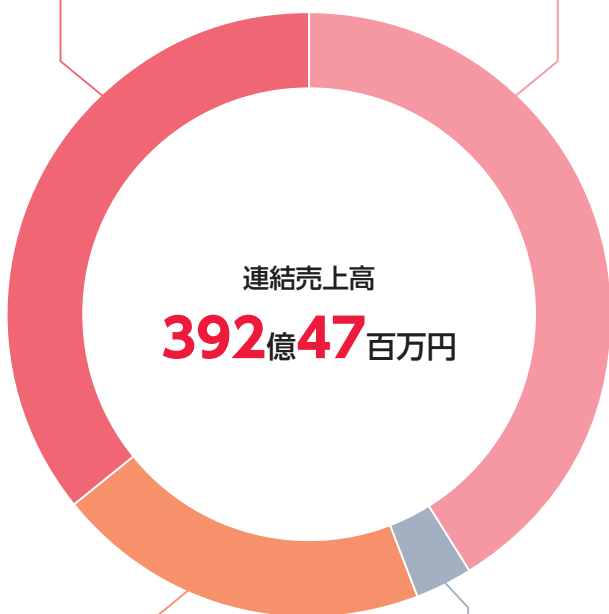
<機械装置部門>

売上高
140億47百万円
(売上構成比 35.8%)



<高圧ガス部門>

売上高
162億24百万円
(売上構成比 41.3%)



<溶接機材部門>

売上高
77億97百万円
(売上構成比 19.9%)



<その他の部門>

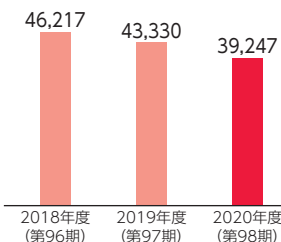
売上高
11億77百万円
(売上構成比 3.0%)



■ 財務ハイライト

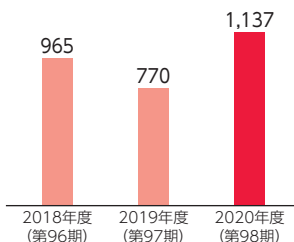
売上高

(単位：百万円)



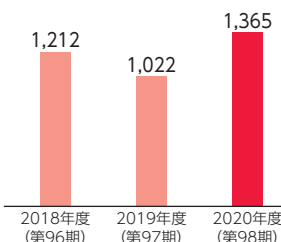
営業利益

(単位：百万円)



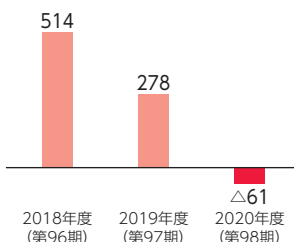
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失 (△)

(単位：百万円)



■ 中期経営計画

当社は2019年4月に5か年中期経営計画「POST100&NEXT100」をスタートさせ、各課題に対し、着実に取り組んでまいりましたが、当社を取り巻く事業環境の変化や各種施策の進捗状況等を総合的に勘案した結果、中期経営計画「POST100&NEXT100」における3～5年目に当たる2021年度～2023年度施策の一部と計数計画を見直すこととしました。新しい中期経営計画「POST100 & NEXT100 TRY-2023」では、当社グループは、変化し続ける世界市場に向けた新技術・新製品の開発および販売体制の強化に取り組むとともに、よりグループとしての結束力を高め、私たち自身の変革を実行し、環境の変化に対応してまいります。

中期経営計画「POST100&NEXT100 TRY-2023」の概要		
主要課題	世界市場での顧客満足の実現 【CS：顧客満足】	①魅力ある製品・サービスの供給 ②顧客利益向上への貢献 ③顧客サービスの高度化
	すべての社員が活躍できる働き方改革の実現 【ES：従業員満足】	①プロフェッショナル人材の育成 ②成果主義に基づく評価制度の浸透と向上 ③働きやすい職場環境の醸成
	持続的成長に向けた経営体制の強化 【SS：社会満足】	①ESG課題への積極的な取組 ②グループ一体経営の促進 ③収益力の強化
数値目標	2024年3月期 (101期) 連結売上高470億円、経常利益率6.0%、ROE4.5%	

■ 株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 17,910,000株

発行済株式の総数 4,150,949株 (自己株式371,984株を除く。)

株主数 2,519名

● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
小池酸素工業取引先持株会	336	8.11
小池商事株式会社	269	6.49
日本酸素ホールディングス株式会社	266	6.43
株式会社三菱UFJ銀行	204	4.94
株式会社千葉銀行	199	4.80
三井住友信託銀行株式会社	174	4.20
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	160	3.86
株式会社きらぼし銀行	152	3.68
株式会社常陽銀行	113	2.72
小池化学株式会社	105	2.55

(注) 1. 当社は自己株式371,984株を保有しておりますが、上記の大株主には含めておりません。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 所有者別状況

